

がん・生殖医療連携会議

/Oncofertility Consortium JAPAN 2016 Meeting準備会議

平成28年度厚生労働科学研究補助金（がん対策推進総合研究事業）
総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究

H27-がん対策-一般-005

班長：国立名古屋医療センター臨床研究センター長 堀部敬三先生

亀田総合病院 東京医科歯科大学 ～がん・生殖医療東関東ネットワーク構築に向けて

川井清考 亀田総合病院
石川智則 東京医科歯科大学



生殖小班

聖マリアンナ医科大学医学部
岐阜大学大学院医学系研究科
岡山大学大学院保健学研究科
長崎大学医学部付属病院
滋賀医科大学医学部
埼玉医科大学総合医療センター
岐阜大学大学院医学系研究科

- 産婦人科学
- 産科婦人科学分野
- 生殖医学
- 産婦人科、生殖内分泌学
- 産婦人科学
- 産婦人科学
- 産科婦人科学分野

鈴木 直
古井 辰郎
中塚 幹也
北島 道夫
木村 文則
高井 泰
森重健一郎

亀田メディカルセンター

• 病床数 992床

• 職員数 約3200名
内訳)

医師 約500名

看護部 約1200名

※助手含む

コメディカル 約900名

事務職 約600名

• 標榜診療科 34科

• 一日の外来患者数 3000~3500名

日本で初めてJCI (Joint Commission International)
の認証を受けた医療機関



Organization Accredited
by Joint Commission International



亀田IVFクリニック幕張



亀田グループ内がん・生殖医療の流れ

主科ご担当医 ①がん・生殖医療の依頼（テンプレート記載）
②「がん・生殖医療の予約」の連絡

生殖医療専門医 2名
がん・生殖医療専門心理士 2名
遺伝カウンセラー 1名

乳腺外科、腫瘍内科
リウマチアレルギー内科
総合周産期センター

①がん生殖カウンセリング（情報提供・見守りリスト・相談・自己決定支援）の実施
②不妊生殖科 初診（AMHなど卵巣予備能の評価・ICなど）

妊孕性温存
しない

精子凍結

受精卵凍結
16歳-43歳

卵子凍結
16歳-42歳

卵巣組織凍結
16歳-40歳

がん担当医に報告

当院で実施

遠方の患者など他院紹介





赤ちゃん



幼児



小学生



高校生



成人



妊婦さん



おかあさん



中年



老人



赤ちゃん



幼児



小学生



高校生



大学生



社会人 25歳



ぼりぼりの
サラリーマン 35歳



お父さん 45歳

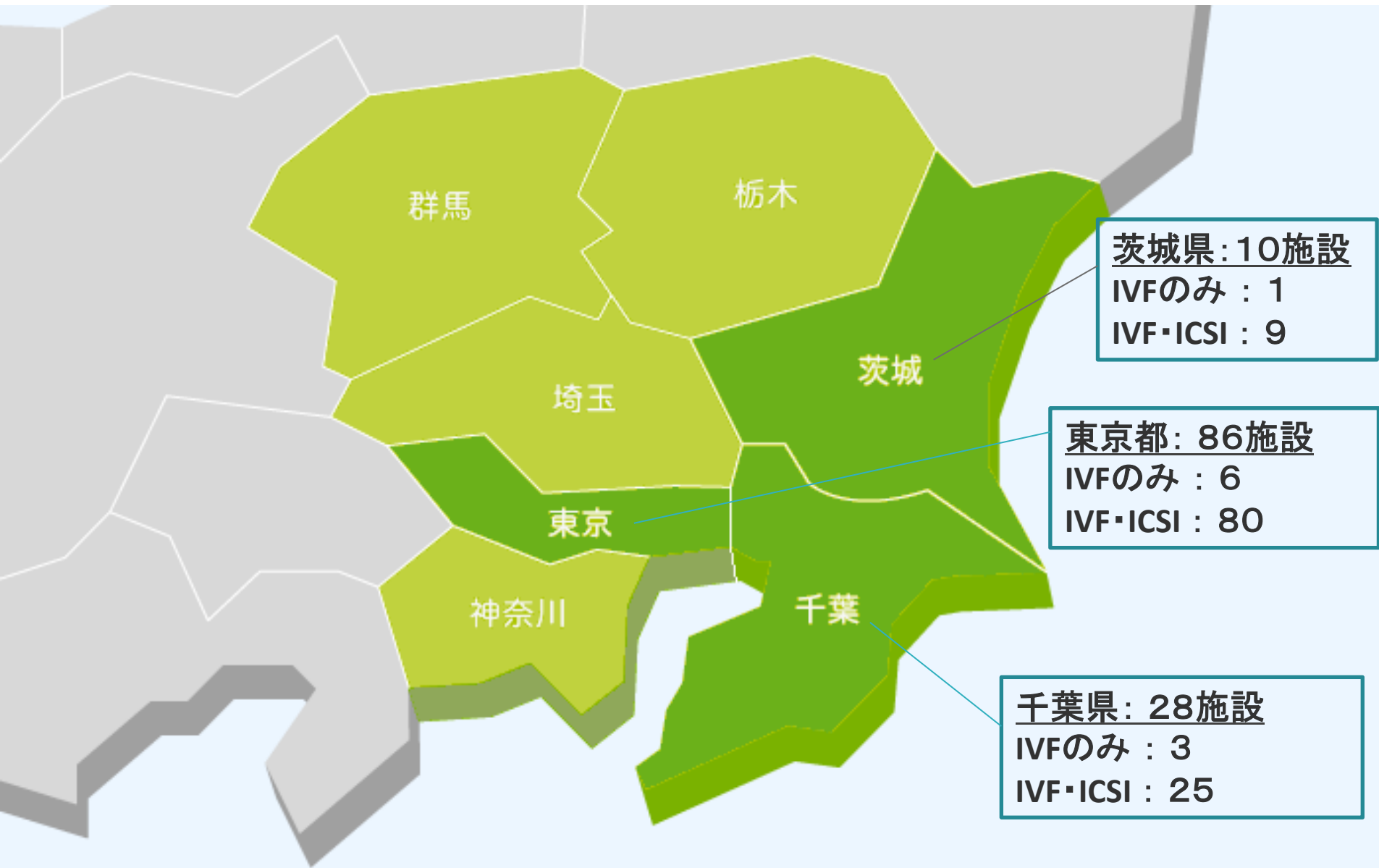


中年期

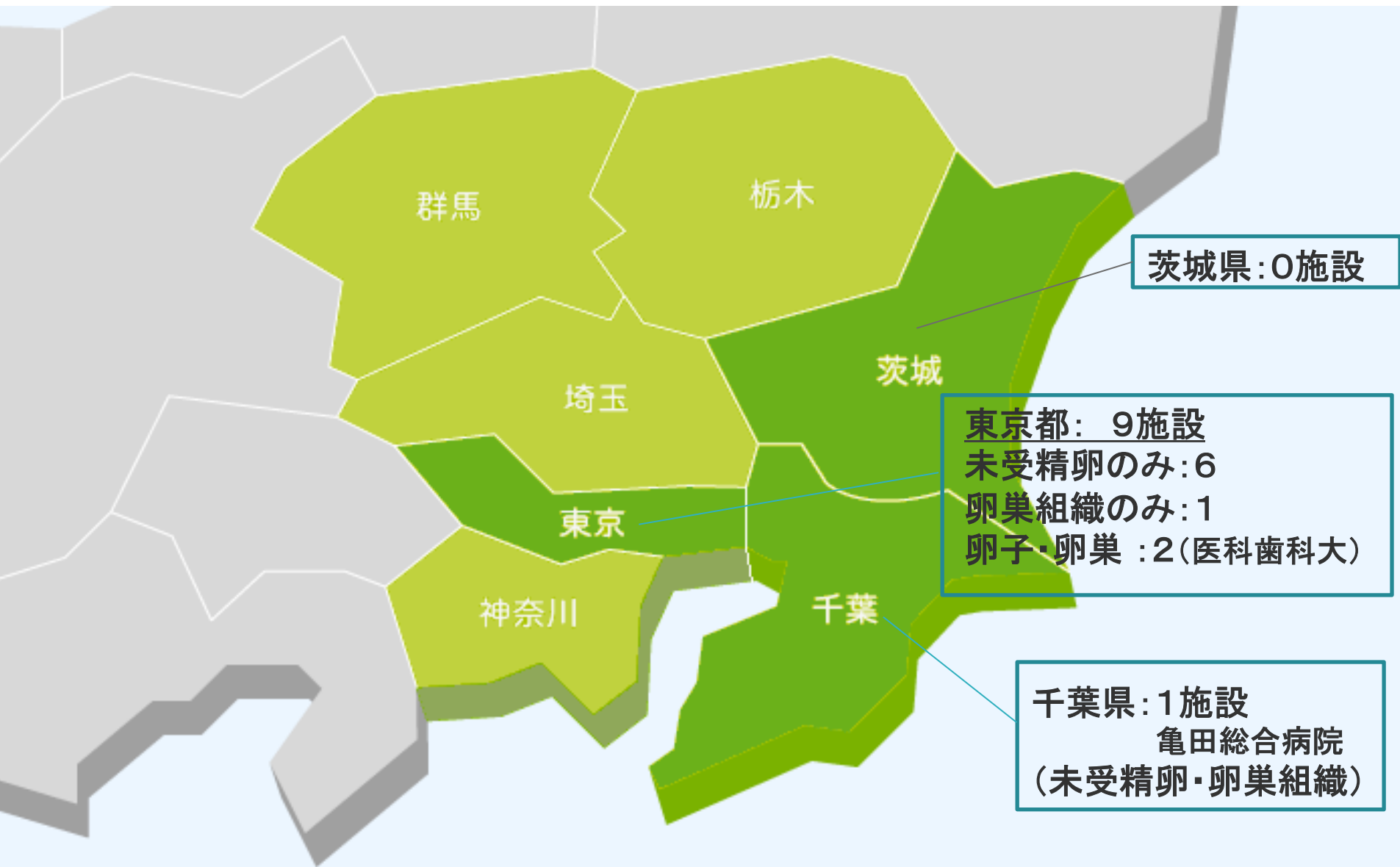


老人期

各県ART登録施設数



医学的適応による未受精卵および卵巣組織の 採取・凍結・保存に関する登録施設



東京医科歯科大学-亀田総合病院連携

1. 妊孕性温存目的のコンサルテーション症例数

2015年8月～現在までのデータ

	男性	女性
2015年	1	8
2016年	1	8

	男性	女性
2015年	5	8
2016年	1	8

2. 卵子/胚凍結症例数

	症例数	周期数
2015年	6	9
2016年	5	6

	症例数	周期数
2015年	3	6
2016年	2	2

3. 卵巣組織凍結症例数

2015年	なし
2016年	なし

2015年	なし
2016年	1症例

4. 精子凍結数

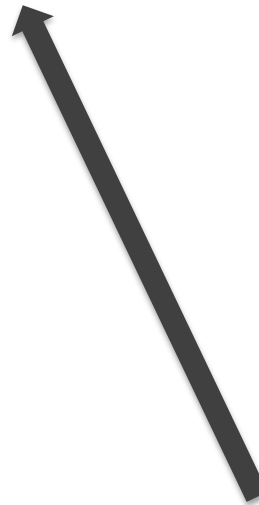
2015年	0症例
2016年	1症例

2015年	5症例
2016年	1症例

5. 当院から他院への紹介数

2015年	0症例
2016年	0症例

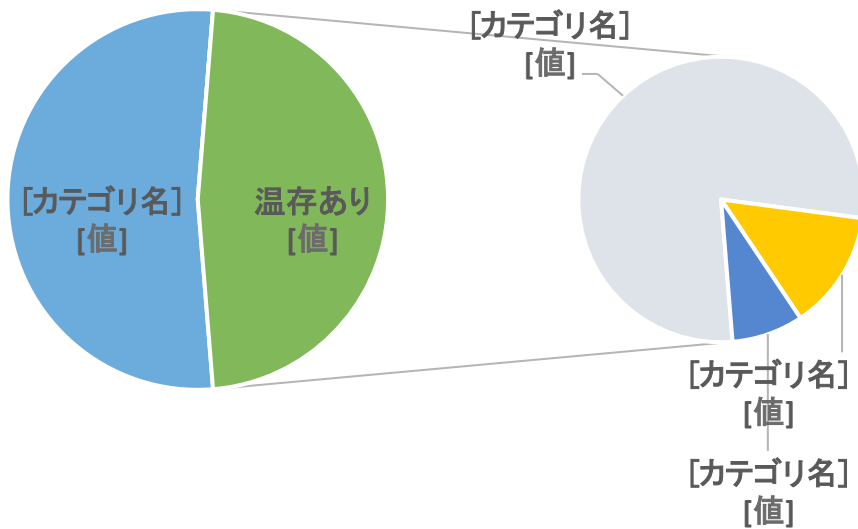
2015年	3症例
2016年	3症例



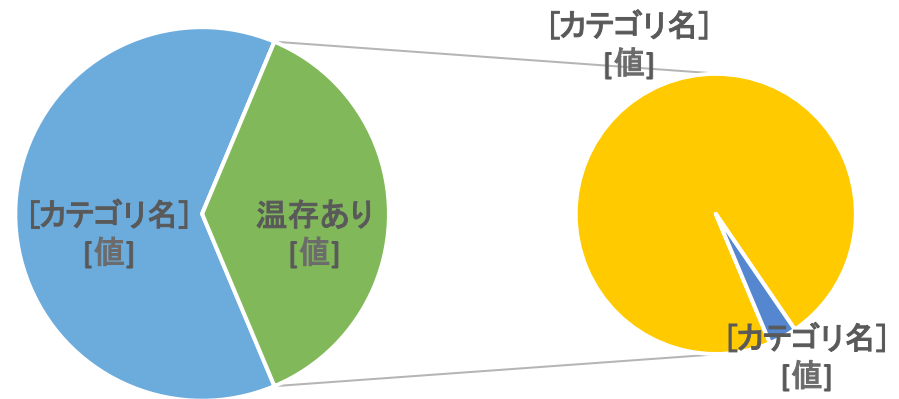
カウンセリング後の妊孕性温存の実施内訳

2008年1月～2016年6月末

未婚者の場合(78人)



既婚者の場合(83人)



千葉県

男性 15-39歳 部位別の罹患割合

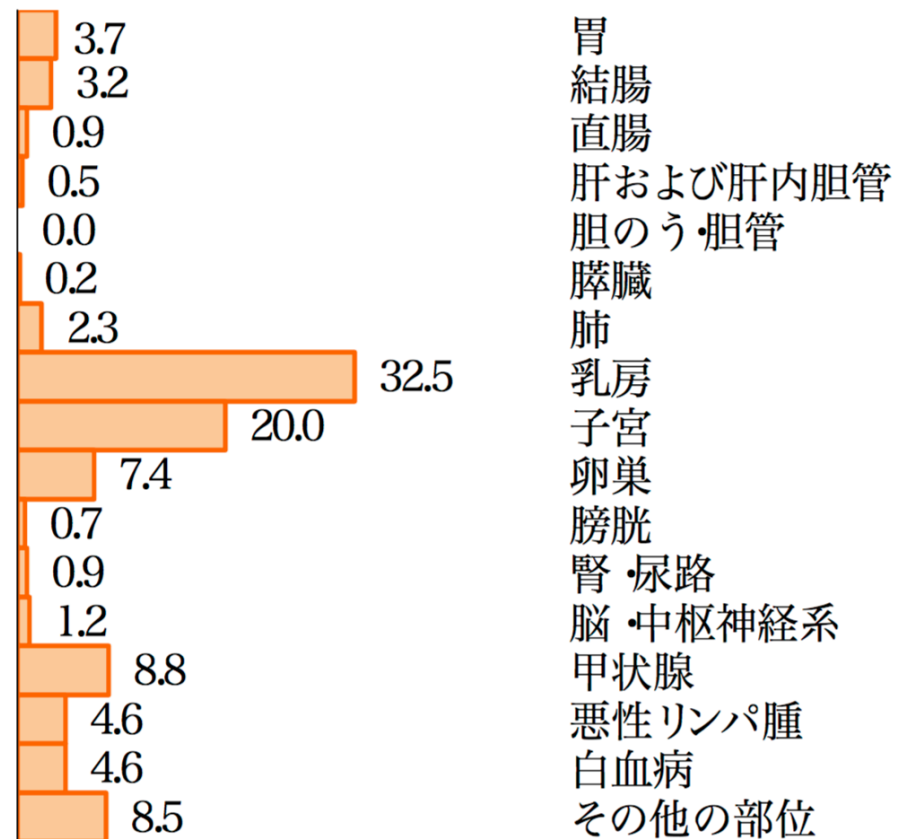
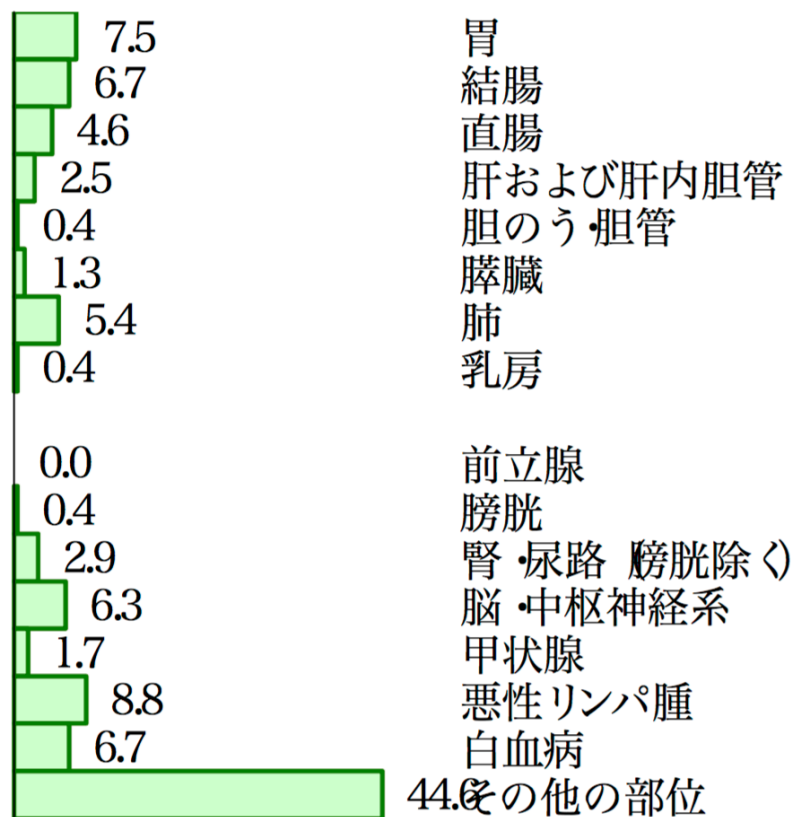
女性 15-39歳 部位別の罹患割合

男性 15-39歳

240 件

女性 15-39歳

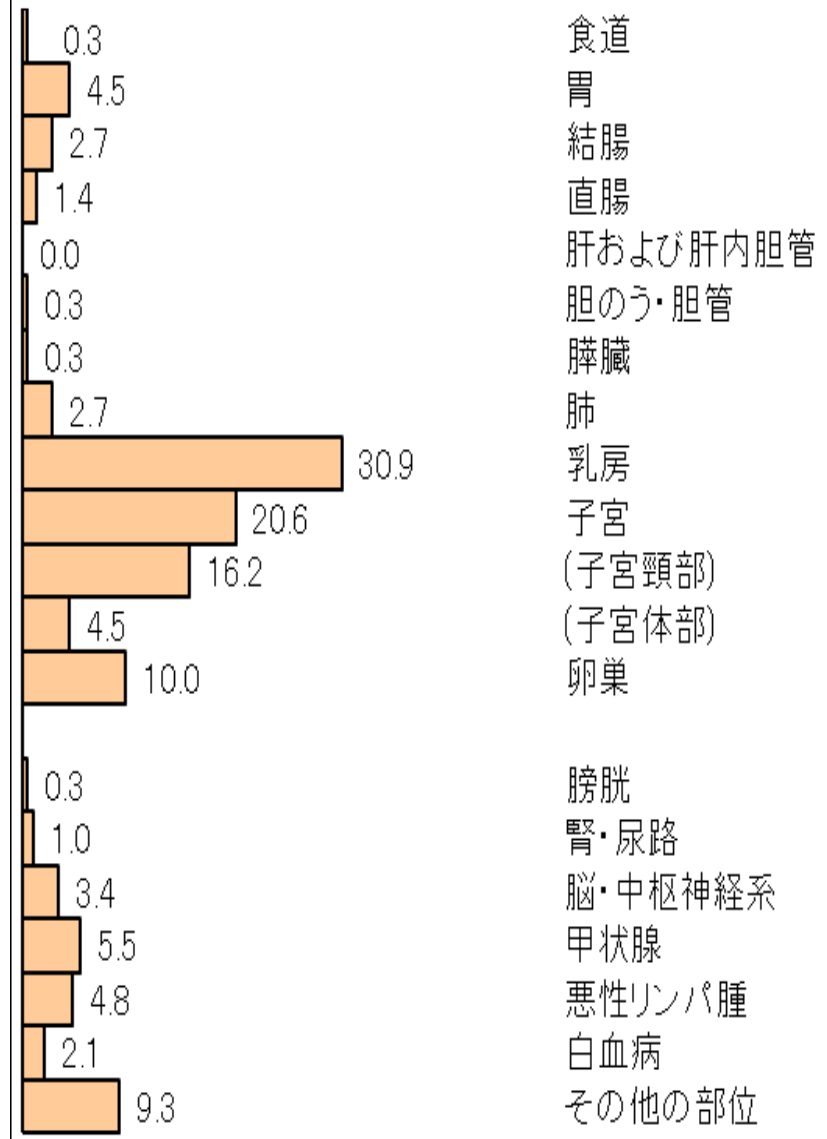
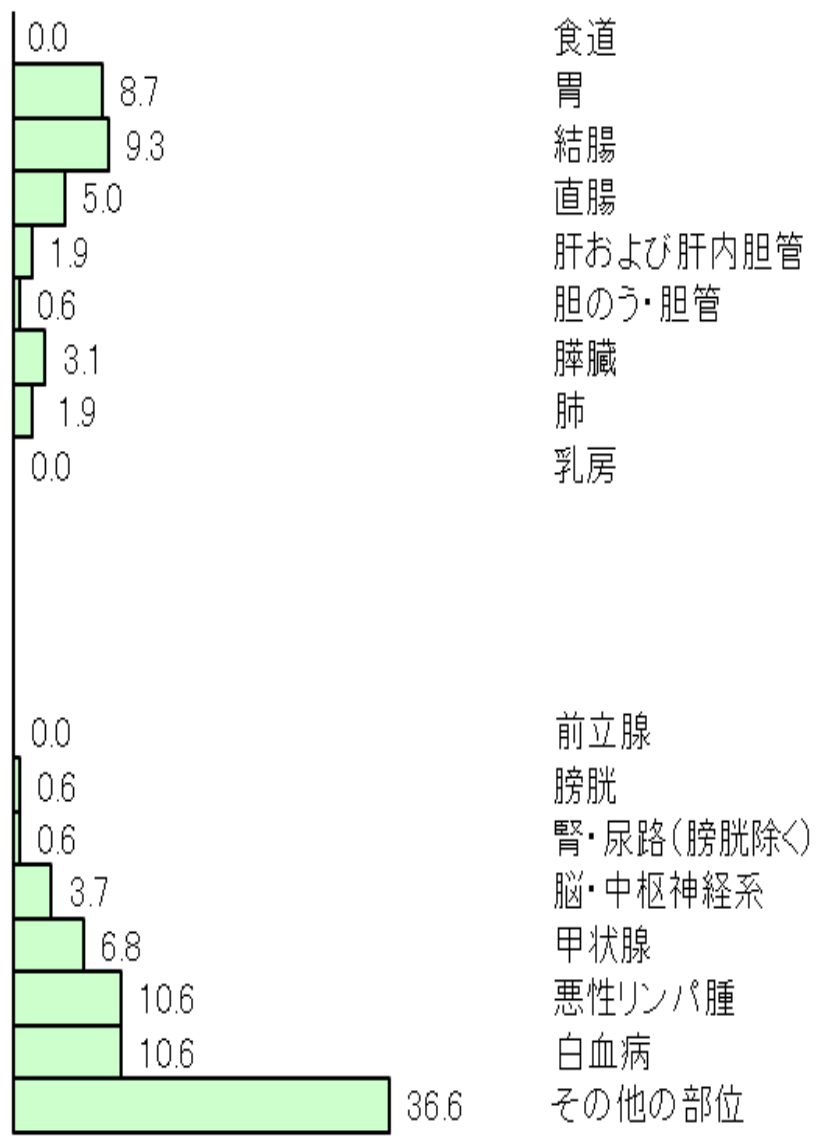
434 件



男性 15-39歳 部位別の罹患割合
161 件



女性 15-39歳 部位別の罹患割合
291 件



千葉、茨城の現状

妊孕性温存
推定数 20名

30%

推定受診数 60名前後
亀田受診数 年間 14名

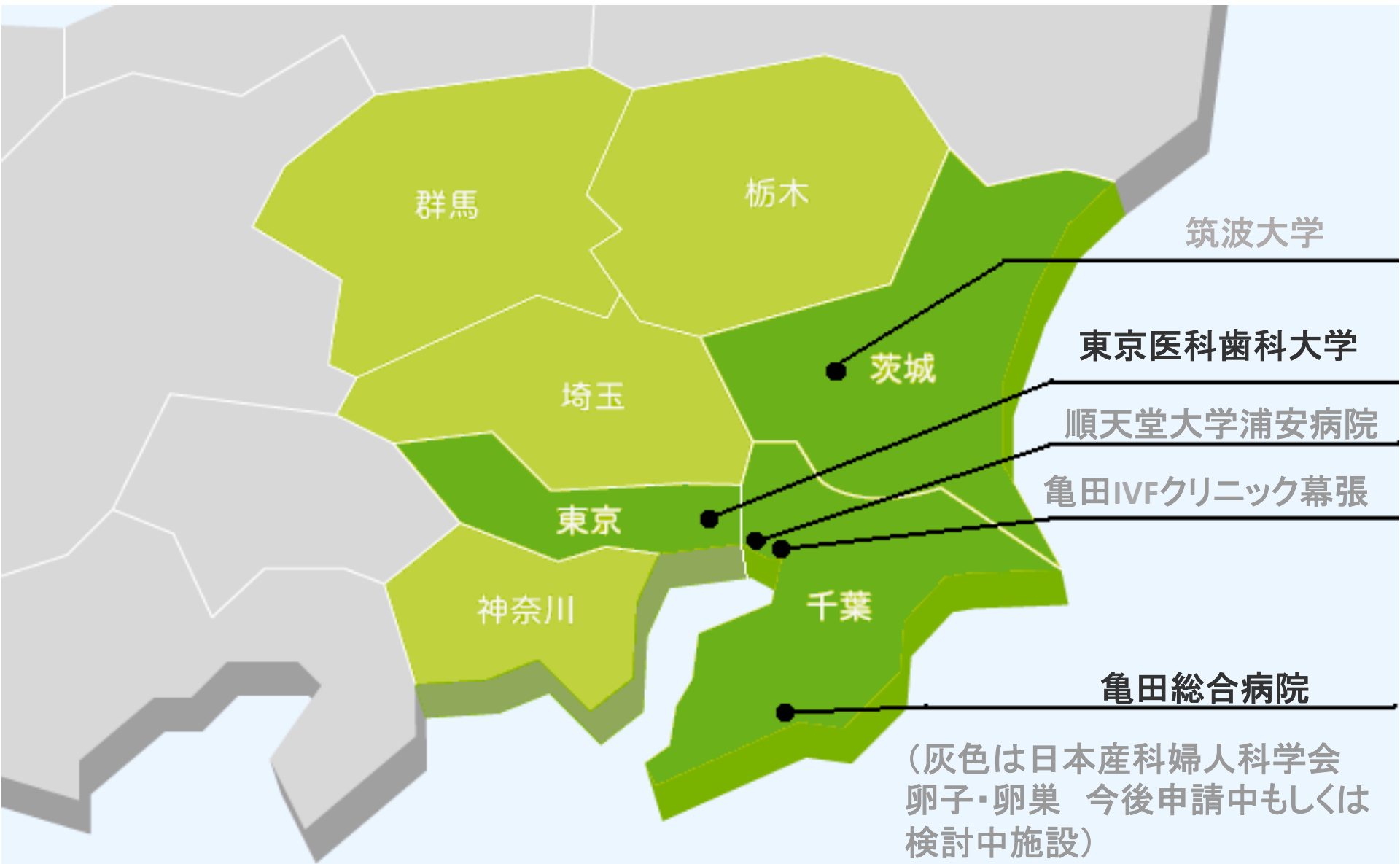
5.3%

千葉・茨城 がん罹患数
男性 401名 女性725名

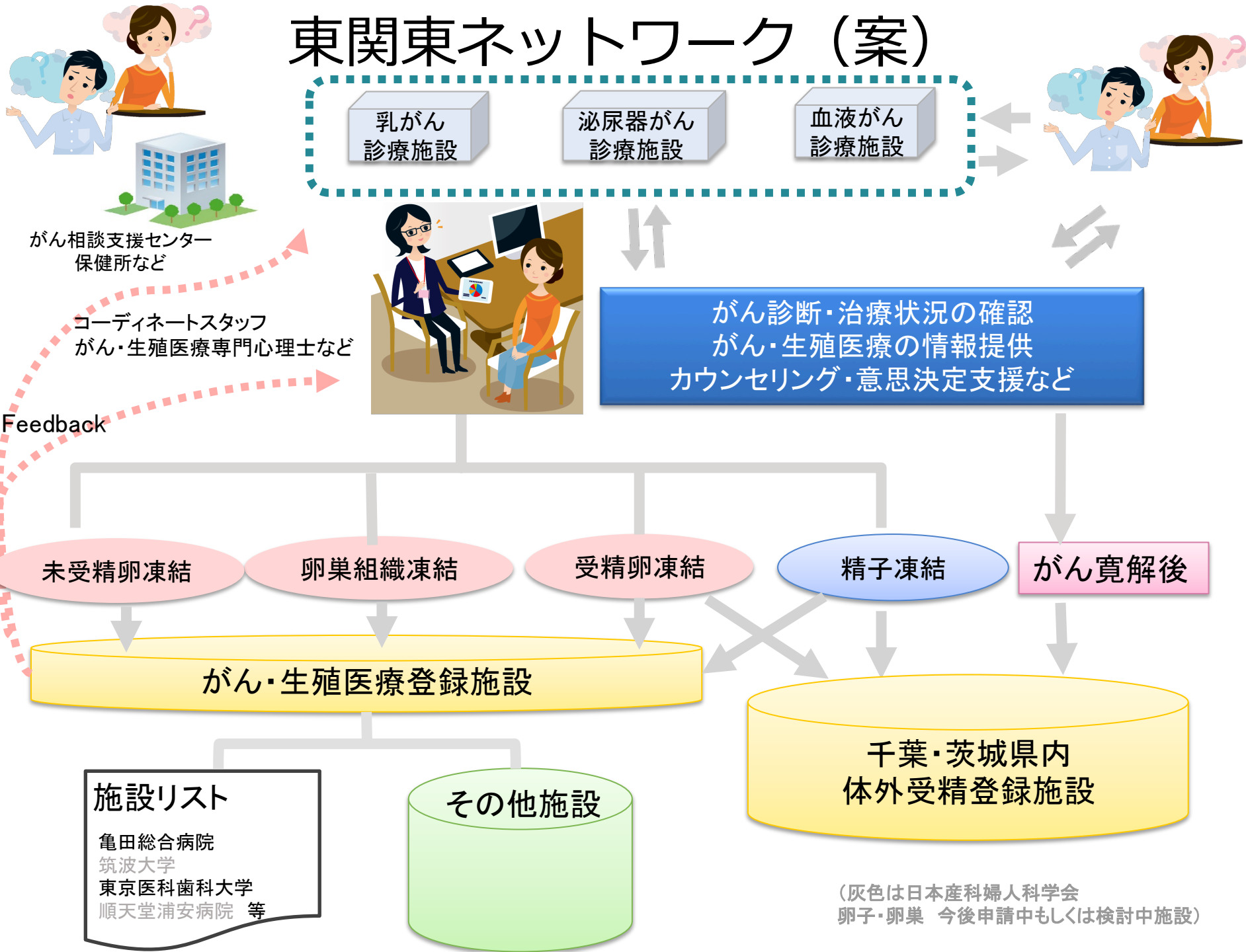
受診率の向上
がん・生殖医療
ネットワーク

東関東（千葉県、茨城県）の がん・生殖医療ネットワーク

東関東ネットワーク（案）



東関東ネットワーク（案）



ネットワークの運営体制(1)

紹介先の主な施設	複数 東京医科歯科大学医学部附属病院 亀田総合病院 など日本産科婦人科登録施設を軸
紹介方法	医師間の電話、メール連絡
がん診療施設からの統一された情報提供書式	準備中。ただし、院外に関して強制使用は考えておらず。
県外からの紹介	ある
妊孕性温存実施施設	紹介先と同一 生殖医療実施施設へ紹介 上記両方
ネットワーク運用資金	未定
ネットワークHome Page ・開設資金	なし 未定

ネットワークの運営体制(2)

妊孕性温存に関する 情報提供内容	独自資料あるが適宜利用
症例の情報	各施設で管理
施設間の交流方法 (患者紹介以外)	今後 研究会なども検討。但し亀田一医 科歯科間は週一度は医師同士の交流あ り。
行政の関与	いすみ市 がん・生殖助成金導入 三市一町(館山、南房総、鴨川、鋸南)の 保健師などとの定期的な勉強会
ネットワークの特徴	県をまたぐネットワーク構築、がん・生殖 医療専門心理士の在籍(2名)
ネットワークの課題	複数大学があるが故のネットワーク形成 の難しさ

千葉県内 がん治療各所へ配布予定

がん・生殖医療問い合わせ、
診察予約についてのお知らせ



問い合わせ・ご予約は、患者様からお願いします。
亀田総合病院 04-7092-2211〈代表番号〉をご案内頂き
「がん・生殖医療の問い合わせ・予約」とお伝えください。

担当者が対応いたします。
不在の場合は折り返しお電話いたします。

「がん・生殖医療外来」の予約、多施設への紹介、
セカンドオピニオンなどにも対応します

亀田総合病院
亀田IVFクリニック幕張で診察
(医師診察・心理カウンセリング・遺伝カウンセリング
を行います)

他院へのご案内

卵子

卵巣
組織

受精卵

精子

温存
不可

亀田IVFクリニック幕張のホームページ内に、
がん生殖医療依頼状フォームがございます。
貴機関の診療情報提供書をお書きになる場
合は、患者の婚姻状況、がん告知日、
TNM分類、病期、病理結果、がん治療の予
定、治療開始までの猶予期間、
妊孕性温存療法の許可について、
ご記入頂けますようお願い致します。



平成 年 月 日

がん生殖医療依頼状(案)

亀田総合病院 不妊生殖科
亀田 IVF クリニック幕張
がん生殖ご担当医 御中

依頼医療機関名: _____
診療科名: _____ 医師氏名: _____ 印
住所: _____
TEL: _____ FAX: _____

下記患者を紹介します。

フリガナ			性別	男・女
患者氏名				
生年月日	明・大・昭・平	年 月 日 (歳)	婚姻	既婚・未婚
住 所	〒			
電話番号	自宅:	携帯番号:	(連絡先を複数ご記入下さい)	
傷 病 名			貴院初診日:	年 月 日
			告知日:	年 月 日
病歴:				
TNM 分類: _____ 病期分類: _____				
組織型など病理結果: _____				
これまでの治療内容や今後の治療予定を教えてください。(当てはまる所にチェックを入れご記入下さい)				
手術: <input type="checkbox"/> 予定 <input type="checkbox"/> 施行済み (年 月 日) 術名 _____				
放射線治療: <input type="checkbox"/> 開始予定 (年 月 日~) <input type="checkbox"/> 施行 (期間 _____ ・部位 _____)				
ホルモン療法: <input type="checkbox"/> 開始予定 (年 月 日~) <input type="checkbox"/> 施行 (期間 _____ ・薬剤名 _____)				
化学療法: <input type="checkbox"/> 開始予定 (年 月 日~) 薬剤名 _____				
<input type="checkbox"/> 施行済み 期間 _____ 薬剤名 _____				
その他治療: _____				
治療開始までの猶予期間: _____ (治療開始時期を教えてください)				
注意事項などご記入下さい:				

お問い合わせ・がん生殖医療外来のご予約は、患者さまからご連絡下さい。当院電話番号のご案内をお願いします。
亀田総合病院: 04-7092-2211 (代) 臨床心理士 奈良・宮川・不在の場合はARTセンターへ
こちらの「がん生殖医療依頼状」をご使用の場合は、押印して患者様にお渡し頂けますようお願い致します。

東関東ネットワーク（案） Future Prospects

- 窓口の整備
- 注射連携施設の構築
- 地域連携研究会の開催

先生たちの言うことが違うなー。

パートナーできるかなー。

お金の問題は どうしよう？



ガンに悪影響及ぼさないかな

注射を打ちに行くには遠いなー。

行政への働きかけ

■ いすみ市の事例

全国初の「がん・生殖医療助成」実施。がん治療で妊娠の可能性が消失しないように、精子、卵子、受精卵、卵巢組織を凍結する費用を助成する

地域不妊治療の窓口の整備



いすみ市 2.5%増149億円

子育て、福祉に重点

いすみ市(人口3万9945人)11月31日現在、は45人、2016年度当初予算案

算案を発表した。一般会計は、前年度比2.5%増の149億4700万円、2年ぶりの増額となる。広域(み処)施設建設休止で財政にゆとりができ、子育てや福祉などに重点を置いた。歳入の25.2%を占める市税は、太陽光発電施設普及に伴い固定資産税が増収となり、前年度比0.6%増の37億5813万円。

円。市債の発行は0.3%減の10億3200万円、15年度末の残高は186億5931万円に減少する見込み。貯金にあたる財政調整基金は3月補正予算案で6千万円を積み立て、15年度末の見込み残高は35億9千万円になる。

歳出では、全国初の「がん・生殖医療助成」を実施。がん治療で妊娠の可能性が消失しないように、精子や卵子、受精卵、卵巢組織を凍結保存する費用を助成する。また新生児の聴覚異常の早期発見をする検査費も助成。母子保健事業として2944万円を計

上した。人口減対策として転入者へ交付金を支給する事業に2473万円を割り振る。

太田洋市長は「持続可能な地域にするため、福祉、子育てに重点を置いた」と説明した。

当院のがん・生殖医療の概算（自費診療） ～亀田総合病院、亀田IVFクリニック幕張～

がん・生殖 特別外来初診 15000円

（初診料＋医師診察＋生殖心理カウンセリング（必要に応じ遺伝カウンセリング））
時間は約2時間半程度かかります。検査こみでも25000円前後

未婚の場合

卵巣組織凍結	約80万円
卵子凍結	1回約20万

既婚の場合

卵巣組織凍結	約80万円
受精卵凍結	1回約25万

※
卵巣組織融解、卵巣組織移植費用
卵子融解後受精・胚培養
凍結融解胚移植
は別途費用がかかります。

患者さまに主体性をもたせて ネットワーク形成を促進する。



受診を希望される方へ

女性の方へ

男性の方へ

初めての方へ

体外受精
説明会

卵と精子
のこと

がん・生殖医療（妊孕能温存）とは

若年がん患者さまや自己免疫性疾患の患者さまが、
治療開始前に考えておかなければいけない事

患者さまはがんや免疫性疾患と告げられ、「ショックで何も考えられない」「これからの治療や生活の事が心配でたまらない」という状態でいらっしゃると思います。これから先の心配があり、頭がいっぱいで、将来の子供の事や生活、人生について考える余裕はないかもしれません。しかし、がん治療により将来、子供を持つことが難しくなる可能性があるため、治療前に『将来の自分の子供を持つ事』について考えておく必要があるのです。

がんになっても、子供を持つ（産み育てる）ことができるの？

近年の医療の進歩により、がんを克服とその後子供を産み育てる事が両立できる事があります。すべての方の希望が叶うというわけではありませんが、がん治療前に将来の自分の子供について考えておく事は、あなたの人生にとって大事な事だと考えています。

どうして、がん治療によって、子供が持ちにくくなるの？

がん治療で行う手術、化学療法、放射線療法によって、妊孕能（にんようのう・妊娠する能力）が低下する可能性があります。

- 女性の場合



がん治療で使われる抗がん剤のいくつかは、卵巣へダメージを与えることが知られています。卵巣への影響は、あなたの年齢、卵巣機能の状態、使われる抗がん剤の種類や投与量によって異なります。卵巣機能は個人差が大きいことから、がん治療後に月経が再開するかは予測困難です。

- 男性の場合



男性リンパ腫、白血病などの悪性腫瘍の化学療法や放射線治療に伴う副作用によって、精子を作る機能の低下が予想されます。精巣腫瘍で精巣を摘出しない場合、直腸癌等の手術で勃起障害がおこる可能性があります。抗がん剤の使用後には、精子数の減少や、無精子症になることもあります。ただ、その期間には個人差があり、永続的なものから、回復までに数年かかるなど様々であるため予測はできません。

患者さまに主体性をもたせて ネットワーク形成を促進する

がん・生殖医療カウンセリングとは？

病気が分かって、ショックで何も手につかない、なんだかボーッとしてしまう時間が増えた、寝る前になると今後のことが不安になって寝付きが悪い、なんで自分が...
そんな風にして気持ち落ち込むと言う方は多くいらっしゃいます。これらは、どんな方でも起こりうる心の反応です。ですが、それを放っておくと心が疲弊して、治療に前向きに取り組めなくなったり、不安が強まっていく事があります。治療開始前に心のサポートも受けられる事をおすすめします。私達はがん・生殖の情報提供だけでなく、患者さま自身・ご家族のサポートもしていきたいと考えています。

何よりもあなた自身が大切です

治療によりがんが治ったら、その後は日常生活が続いていきます。がん治療開始前、治療後の人生も想像し、将来の生活も考えながら、がん治療のことを考えていきましょう。
でも、一番優先しなければならないのは、がんを治療することです。
当院では、がん治療中はもちろん、治療前の不安などのご相談や、治療後、退院してからの生活についてのご相談にも応じることができます。治療後のあなたの人生も大切にしながら、がんのことや治療のことを考えていけるよう、お手伝いさせていただきます。

がん治療

手術・化学療法・放射線治療
血液腫瘍内科・産婦人科

治療サポート

看護師/薬剤師
リハビリテーション

情緒的サポート

患者会/アイビー・アロヒ会
アロハ会(アートセラピー)

将来の子供は？『がん・生殖医療』

不妊生殖科 医師
生殖心理カウンセラー
遺伝カウンセラー/培養士

不安・心配・痛み

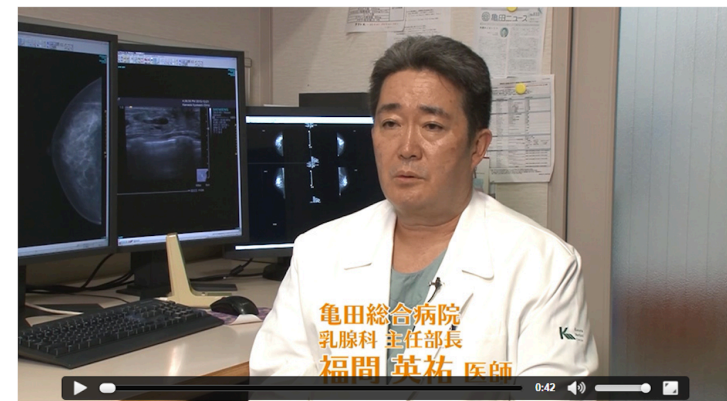
精神科リエゾンチーム
ソーシャルワーカー
緩和ケアチーム



臨床心理士からのメッセージ



乳がん専門医師からのメッセージ



患者さま用 無料動画の作成

がん治療を始める前に！

**卵子・精子の凍結保存を
考えてみませんか？**



苦しんでいる患者が
何より中心



Oncofertility Consortium JAPAN 2016
JSFP-がん・生殖医療会議

行政の関与

日本小児血液・がん学会
日本血液学会
日本小児外科学会
日本脳神経外科学会
日本眼腫瘍学会
日本頭頸部外科学会
日本整形外科学会
日本産科婦人科学会
日本内分泌外科学会
日本泌尿器科学会
日本小児泌尿器科学会
日本皮膚悪性腫瘍学会
日本乳癌学会
日本臨床腫瘍学会

より良い医療連携